



落石岬と太平洋が見えるあたりで、大きな鳥が飛んでいました。大きさと飛び方から見て猛禽には間違いありません。最初はトビ（トンビ）と思いました。



しかしこれはトビではなく、「オジロワシ(尾白鷲)」でした。道東にはオジロワシも多いとは聞いていましたが、まさか走っている列車の中から、こんな写真が撮れるとは思っていませんでした。



列車が去ると、ワシは、線路わきの木の柵で休んでいました。あとから聞いたところでは、列車にはねられて死んだシカやキツネの死骸を、ワシが狙っているのだそうです。あまり良くない食物連鎖の例ですね。



普通列車の運転席は低位置で狭いので、遠くの見通しは効きません。(写真は後方視界です) 普通列車でも時速 80km ぐらいいは出すので、野生動物の出現に、運転士さんは常に気をつけて運転しているのです。



この日一番危なかったのが、このエゾシカの親子でした。(写真は前方視界) 国道とちがって、1～2時間に1本しか列車が通らないので、シカにとっても楽な通り道になっているのです。幸い直線部分で発見とブレーキが早く、シカとの接触はありませんでした。

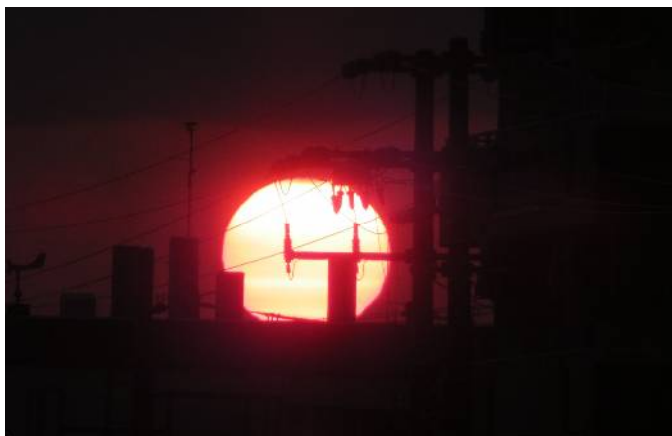


終点の釧路が近づいてきました。釧路～根室の片道運賃は 3080 円、往復で 6160 円ですが、私はフリー

切符で乗ったので運賃の支払いは不要でした。こんなにいろいろと体験させてもらったのに、何か申し訳ないような気がしました。



根室駅で乗車した時は気づきませんでしたが、私の乗っていた列車は「ルパン三世」のラッピング車でした。作者のモンキー・パンチさんゆかりなのです。



ちょうど釧路駅のホームで日没を迎えました。雲一つない、真っ赤な太陽でした。旅行先で見る夕日というのは、どこか旅情を豊かにしてくれる存在です。



釧路駅では札幌行きの最終の特急が発車するところでした。これに乗ってこの日のうちに札幌に戻ることもできたのですが、乗ってすぐに夜になってしまいます。やはり昼の風景を見ながら移動したいと思い、

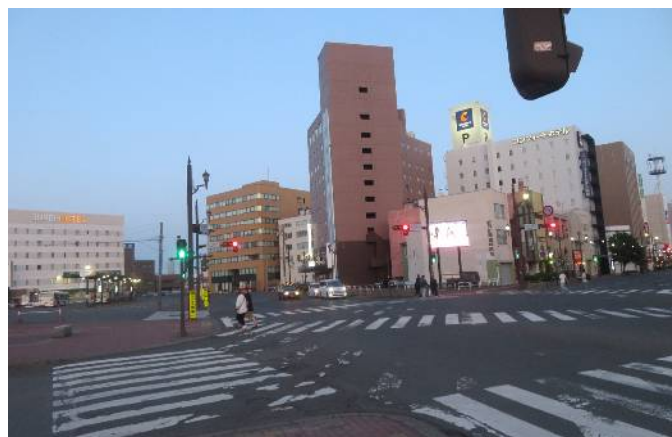
この日は釧路に宿をとっていました。



ちょうどエキナカのパン屋さんが閉店間際で、タイムセールをやっていたので、明日の朝食用に3個400円のパンを買っておきました。



釧路駅は道東一の中核駅です。網走駅より二回りぐらい核が上です。「JR 北海道釧路支社」もこの駅ビルの中に入っています。



駅前も網走よりもずっと賑やかです。この日は網走→釧路→根室→釧路と、普通列車ばかり乗り継いで釧路駅を降り立ちました。乗車キロ呈は439.9km、乗車時間は8時間17分・・・ということで、たぶん疲れているだろう、という予測でした。それで宿も釧路駅前のホテルにしました。以前釧路に来た時は、いわゆる「駅前旅館」という安宿がたくさんありましたが、今は立派なホテルが林立していました。